



ウクライナ支援講演会を開催しました！！

概要

6月4日（土）千葉県生協連会議室及びオンラインでウクライナ支援講演会「オルガさんに聞く 祖国のこと、今思っていること、私たちに伝えたいこと」を開催し、当日51名、アーカイブの配信で110回の視聴（6月17日現在）がありました。

講演の目的はロシア軍のウクライナへの武力侵攻で起きていることを理解し、その事柄を自分に引き寄せ、平和について考える機会にすることとしました。開催にあたり、千葉県社会福祉協議会、千葉県協同組合提携推進協議会、千葉県ユニセフ協会、千葉県労働者福祉協議会、千葉市社会福祉協議会、千葉日報社、日本赤十字社千葉県支部、フードバンクちばから後援をいただきました。終了後にアーカイブでの配信もおこなわれました。

主催者あいさつ（首藤会長理事）

2月に始まったロシア軍によるウクライナへの武力侵攻は長期化し、連日、心が痛む光景が報道されています。本日は、ウクライナの戦火の中から、千葉に避難されてきたパンコーヴァ・オルガさんに、ウクライナの歴史や人々の生活の様子、ロシア軍の侵攻や現在のウクライナの状況などお話しいただきます。戦争を起こさないため、平和のために一人ひとりができることをみなさんと一緒に考えたいと思います。



首藤会長

講演の内容（パンコーヴァ・オルガさん）

ウクライナは東ヨーロッパにあり、首都はキーフになります。ロシア語ではキエフ、ウクライナ語でキーフと発音します。国旗は黄色と青色の2色ですが、青は青空、黄色は小麦の黄色を表しています。ウクライナは第1次産業が盛んで、小麦やトウモロコシなどの穀物を栽培して海外に輸出をしています。

1991年に当時のソビエト連邦から独立して、ウクライナ語を話し、ウクライナ人としての意識が高くなり、人々は自由を感じ始めました。同時にウクライナの文化も発展しました。ウクライナには元々聖ソフィア大聖堂などの歴史的な世界遺産がたくさんあります。また民族衣装は男女で分かれていて地域別にも独自の刺繍があります。ウクライナの料理はサーロ、ボルシチなど独特の料理があり、もし機会があればみんなで作って食べたいと思います。



講師：パンコーヴァ・オルガさん

ウクライナは2014年に国内で争いが始まりました。その後、ロシアがウクライナ領のクリミア半島を占領し東部で戦争が始まりました。しばらくは一部での争いでしたが、2022年2月に突然ロシア軍によるウクライナへの侵攻が始まりました。

当初は政府から長くは続かないので3日~4日位我慢してくださいと言われてましたが、一向に収まらず人々は地下シェルターに避難しました。地下シェルターではみんなが横になることができず、洋服を着たままイスで寝たりすることもありました。攻撃は首都キーフの周辺がひどく、ロシア軍が去った後は誰も生き残ることができず、死体が散乱していました。これは戦争ではなく殺人であると感じています。日本では報道されていない写真がウクライナではFBやインスタグラムで流れているので子供たちに見せることはできません。

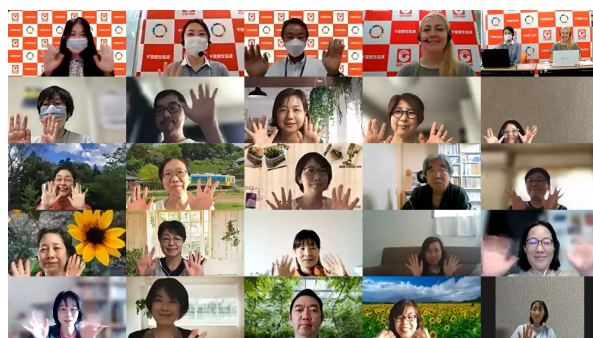
1週間経っても戦況は悪化するばかりだったので、避難することを決断しました。突然の決断だったので混乱していて、必要最低限のものだけ手にして、始めにポーランドに行きました。その後、日本の友だちからたくさんのメッセージが届いたので留学経験のある日本に行くことを決断しました。日本では大学時代の友だちが迎えに来てくれて、たくさんの支援やサポートを感じます。日本では卒業した千葉敬愛大学の職員として採用してもらい、学生と平和を考える講演やイベントなど積極的におこなっています。日本に来てからもウクライナのごことはとても心配で早く平和が戻ってきてほしいと思います。戦争はとても恐ろしいことなので命の大切さをみんなで考えてもらいたいと思います。ロシア人には良い人もいます。同じスラブ民族だから仲良くしたいです。次の歴史の1ページでは、平和で一緒に暮らせるようになりたいです。

参加者アンケートより（一部抜粋）

- ・ニュース等でウクライナの状況を見聞きすることは多いですが、やはり実際に体験された方からお話を伺えたのは貴重な体験でした。また、人権や平和、命の尊さは、国同士の争いとは関係なく、万国共通の大切な理念だと改めて思いました。
- ・今日お話を聞いたことは、とても貴重で忘れられない機会になりました。ロシアによる軍事侵攻が始まった2月の朝、ニュース速報を見て信じられない気持ちになったことを思い出しました。その渦中に、今日、目の前にいるオルガさんがいたのだと思うと、遠く離れた東ヨーロッパでの出来事が急に自分ごとになりました。着の身着のまま祖國を離れなくてはならなかった理不尽、街中に無残に放置された遺体を見る刹那さは、想像するに堪えません。今日を機に、改めて、武力での争いが引き起こす悲しい惨状に目を逸らすことなく事実を知ることが大切にならねばならないと思います。



左：支援者の藤岡さん 右：オルガさん



参加者のみなさん

以上